

# 「家がいいね」 第47号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2008. 4. 9

花粉症はあるけど、満開の花に誘われ散歩に出かけました。花は目を楽ませ、耳には鳥の音が届きました。雲雀（ひばり）は空高く、鶯（うぐいす）は近くの藪でさえずりのキャッチボールをします。姿を見せません。ヒヨドリは大胆に桜の枝に止まっていました。商店街のアーケードには、早くも燕が古巣を取り合い飛び交っていました。素直な鳥の声に比べると、人の言葉は次のように分かりにくいものですね。



## 「長寿」「適正化」って何？

後期高齢者医療制度が発足した直後に「長寿」医療制度と言い直しています。本質を言い当てられると、ネーミングで批判をかわそうとするのは、まったく卑怯としか言いようがありません。それも医療費の「適正化」のためとは、「削減化」を塗り隠す口実です。軍事費・道路とかうるさい圧力団体のいる分野には「ふるまい」を許すのが、この官僚用語の「適正化」の中身です。制度が始まってはまだ、運用の詳細を決めてもいない中央官僚には、「法律に逆らえないだろう」と、医療現場や国民をなめている」と腹が立ちます。

## 「まず救急車」ちよつと待って

自宅で作れるだけ最期まで暮らすことを、「終わりとければいせの会」で、話しています。じっくり考えるためには、救急車の要請を急がずに相談できる体制が必要だと思います。会は、17日19時「セミナー」です。



## 学習会「悲嘆のケア」

みえ生と死を考える市民の会が、市民向けに開催します。その後には総会も予定します。

講師 衣斐（いび） 弘行さん

（鈴鹿市在住の小説家・僧侶）

## 「生死のはさまで悲嘆のケア」

4月27日（日）13時～14時半

フレんテみえ セミナー室C（三重県総合文化

センター） 会員無料 一般300円

## こころのケア講演会

みえ生と死を考える市民の会の第10回の講演会です。

講師 大下大圓（だいえん）さん

（飛騨千光寺・住職）

## 「生きる意味とこころのケア」

6月1日（日）13時半～16時

三重県総合文化センター・小ホール

一般1000円（前売り800円 当院でも）

## 大型連休の外来お知らせ

4月28日（月）	まで通常
4月29日（火）	祝日休診
4月30日（水）	臨時休診
5月1日（木）	振替開院
5月2日（金）	通常開院
5月3日（土）	祝日休診
5月4日（日）	祝日休診
5月5日（月）	祝日休診
5月6日（火）	祝日休診
5月7日（水）	から通常

在宅患者さんの緊急対応は致します。（新規のご紹介には対応出来ません）



自宅での人生を  
最期まで支援します

〒516-0805  
三重県伊勢市御園町高向 927  
電話 0596-20-8104  
ファクス 0596-20-8105  
mail [homecare@kr.tcp-ip.or.jp](mailto:homecare@kr.tcp-ip.or.jp)  
<http://www.tcp-ip.or.jp/~takuro>